

付9 労働力調査の2014年における変更点

労働力調査の2014年における変更点は以下のものが挙げられる。

- 1 調査票に関する変更
- 2 調査票の記入のしかたに関する変更
- 3 季節調整値の算出方法に関する変更

参考資料 労働力調査の2014年における季節調整値の改定等について

なお、細かい図表については割愛する。詳細についてはホームページを参照のこと。

それぞれの具体的な内容については以下のとおりである。

1 調査票に関する変更

総務省統計局の調査であることを明確に示すため、イメージデザインを追加した。

時期	変更後	変更前
2014年7月	<p>基礎調査票</p>	
2014年7月	<p>特定調査票</p>	

2 調査票の記入のしかたに関する変更

調査票の記入のしかたについて以下のとおり変更した。

2.1 基礎調査票

時期	変更後	変更前
2014年11月	第1面 改訂年月更新 平成26年11月改訂	平成25年1月改訂
2014年11月	第1面 「調査の対象」欄の注部分の文言の変更 旅行や出稼ぎ、単身赴任などで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。	旅行や出稼ぎなどで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。
2014年11月	第1面 文言の変更 調査票は、機械にかかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。記入は必ず黒鉛筆又はシャープペンシルでお願いします。 ○ インクやボールペンは、黒色でも使用しないでください。 ○ 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。	調査票は、機械にかかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。記入は黒鉛筆でお願いします。 ○ 調査票は、必ず黒鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。インクやボールペンは使用しないでください。 ○ 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。

時期	変更後	変更前										
2014年11月	<p>第4面 記入例の追加 「中古品小売業（リサイクルショップ）」及び「シルバー人材センター」の記入例を追加</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">中古品小売業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">リサイクル シ ョ ッ プ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*中古家電小売 販 売 店 員</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※中古品の小売は、主に小売する中古品の種類がわかるように書いてください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">シルバー人材センターからの派遣社員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p> <p>仕事の内容</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>*(株)ヤマソフト</p> <p>*ゲーム用ソフトウェア作成</p> <p>*プログラマー</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>*(株)山田ビル 管理</p> <p>*マンション・アパートの管理業務</p> <p>屋 内 清 掃</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>※労働者派遣事務所又はシルバー人材センターからの労働者派遣により働いている人は、派遣先の「名称」「事業の内容」及び「仕事の内容」を書いてください。また「労働先における呼称」は「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">シルバー人材センターからの紹介の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">※</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>※シルバー人材センターから仕事の紹介を受けている人で、名称がとくにない場合は、斜線を引いてください。</p> <p>また「◎従業員上の地位」は「自営業主(雇い人なし)」とし、⑩の「経営組織」を「個人」とします。</p> </td> </tr> </table> </div>	リサイクル シ ョ ッ プ	*中古家電小売 販 売 店 員	シルバー人材センターからの派遣社員		<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p> <p>仕事の内容</p>	<p>*(株)ヤマソフト</p> <p>*ゲーム用ソフトウェア作成</p> <p>*プログラマー</p>	<p>*(株)山田ビル 管理</p> <p>*マンション・アパートの管理業務</p> <p>屋 内 清 掃</p>	<p>※労働者派遣事務所又はシルバー人材センターからの労働者派遣により働いている人は、派遣先の「名称」「事業の内容」及び「仕事の内容」を書いてください。また「労働先における呼称」は「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。</p>	※	<p>※シルバー人材センターから仕事の紹介を受けている人で、名称がとくにない場合は、斜線を引いてください。</p> <p>また「◎従業員上の地位」は「自営業主(雇い人なし)」とし、⑩の「経営組織」を「個人」とします。</p>	
リサイクル シ ョ ッ プ												
*中古家電小売 販 売 店 員												
シルバー人材センターからの派遣社員												
<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p> <p>仕事の内容</p>	<p>*(株)ヤマソフト</p> <p>*ゲーム用ソフトウェア作成</p> <p>*プログラマー</p>											
<p>*(株)山田ビル 管理</p> <p>*マンション・アパートの管理業務</p> <p>屋 内 清 掃</p>	<p>※労働者派遣事務所又はシルバー人材センターからの労働者派遣により働いている人は、派遣先の「名称」「事業の内容」及び「仕事の内容」を書いてください。また「労働先における呼称」は「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。</p>											
※	<p>※シルバー人材センターから仕事の紹介を受けている人で、名称がとくにない場合は、斜線を引いてください。</p> <p>また「◎従業員上の地位」は「自営業主(雇い人なし)」とし、⑩の「経営組織」を「個人」とします。</p>											

2.2 特定調査票

時期	変更後	変更前
2014年11月	<p>第1面 改訂年月更新 平成26年11月改訂</p>	平成25年1月改訂
2014年11月	<p>第1面 「調査の対象」欄の注部分の文言の変更 旅行や出稼ぎ、単身赴任などで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。</p>	旅行や出稼ぎなどで一時不在の人は、不在期間が3か月以上にならない時はあなたの世帯で記入しますが、3か月以上になる時は旅行先や出稼ぎ先で調査されます。
2014年11月	<p>第1面 文言の変更 調査票は、機械にかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。記入は必ず黒鉛筆又はシャープペンシルをお願いします。</p> <p>○ <u>インクやボールペンは、黒色でも使用しないでください。</u></p> <p>○ <u>書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。</u></p>	<p>調査票は、機械にかけますので、汚したり、丸めたり、最初に折られている以上に折ったりしないでください。記入は黒鉛筆をお願いします。</p> <p>○ 調査票は、必ず黒鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。インクやボールペンは使用しないでください。</p> <p>○ 書き間違えた場合は、消しゴムできれいに消してから記入しなおしてください。</p>

3 季節調整値の算出方法に関する変更

労働力調査では、毎月1月分結果公表時に季節調整値の改定を行っている。主要系列については、2013年1月からreg-ARIMA モデルを導入しており、毎年改定時にreg-ARIMA モデルを検証している。

2014年における季節調整値の改定では、①主要系列の季節調整法におけるreg-ARIMA モデルの一部変更、②産業別就業者数における季節調整値の公表系列の見直し、③長期時系列データ表1におけるExcelブック名の変更等を行った。詳細については参考資料「労働力調査の2014年における季節調整値の改定等について」及びホームページを参照のこと。

○<URL><http://www.stat.go.jp/data/roudou/kisetsu/index.htm>

労働力調査の2014年における季節調整値の改定等について *

労働力調査では、毎年1月分結果公表時に季節調整値の改定を行います。主要系列については、2013年1月から reg-ARIMA モデルを導入しており、今後、毎年の改定時に reg-ARIMA モデルを検証することとなります。

2014年における季節調整値の改定（2014年2月28日公表予定）では、①主要系列の季節調整法における reg-ARIMA モデルの一部変更、②産業別就業者数における季節調整値の公表系列の見直し、③長期時系列データ 表1における Excel ブック名の変更等を行います。

労働力調査では、毎月、季節変動を除いた季節調整値^{注1}を計算し、公表しています。この季節変動の除去には、原数値を季節指数（各月の季節変動のパターンを表す数値）で除すことにより行っています。そして、毎年1月分結果公表時には、直近の季節パターンを的確に反映させるため、過去の時系列データに前年12か月分のデータを追加し、最大で過去29年分のデータを用いた遡及計算を行い、当年に適用する推計季節指数を算出するとともに、直近の10年分の結果を改定しています。

注1 季節調整値の詳細については、統計局ホームページ掲載の下記資料を御参照ください。

・季節調整値の算出方法 URL < <http://www.stat.go.jp/data/roudou/kietsu/index.htm> >

・労働力調査の結果を見る際のポイント

No.4 原数値と季節調整値 URL < <http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point04.pdf> >

No.7 季節調整値の改定 URL < <http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point07.pdf> >

2014年における季節調整値の改定（2014年2月28日公表予定）では、以下の対応を実施することとします。

1 主要系列の季節調整法における reg-ARIMA モデルの一部変更

労働力調査では、季節調整値のうち主要系列について、2013年1月分結果公表時から X-12-ARIMA における reg-ARIMA モデルを導入しています。今後、毎年の改定時に、主要系列における reg-ARIMA モデルの見直しを行います。

今回の見直しの結果、2014年1月分結果から採用する ARIMA モデル等は、**別紙1**のとおりとします。回帰変数 (LS, RP) に変更はなく、18系列中7系列の ARIMA モデルを変更します。

2 産業別就業者数における季節調整値の公表系列の見直し

産業別就業者数の季節調整値は、2014年4月分結果以降、現在の17系列から「農業、林業」及び「非農林業」の2系列のみの公表とし、他の15系列の公表を取りやめます。

これは、近年の雇用環境をめぐる動きや雇用形態の多様化、また、労働力調査において2013年1月から労働者派遣事業所の派遣社員の産業を派遣元から派遣先に変更したことなどを踏まえ、当該系列における季節性の有無を検証した結果、「農業、林業」及び「非農林業」の2系列のみ季節性の存在が確認されたことから変更を行うものです。検証結果について、詳細は**別紙2**をご覧ください。

なお、全国結果において季節調整値を公表する系列については、**別紙3**のとおりです。

3 長期時系列データ 表1における Excel ブック名の変更等

上記2の変更等^{注2}に伴い、長期時系列データ 表1（月次結果－全国）の表番号及び Excel ブック名を2014年1月分結果公表時から変更する予定です。詳細は、別紙4のとおりです。

注2 長期時系列データ 表1において、年齢階級別の15歳以上人口、就業率、非労働力人口（いずれも原数値のみ）を新たに追加する予定。

・長期時系列データ URL < <http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm> >

* 別紙2については、本報告書への掲載はなく、統計局ホームページでのみ掲載。

URL < <http://www.stat.go.jp/data/roudou/kietsu/pdf/140131sa.pdf> >

表 2014年1月分から適用する reg-ARIMA モデル

系列		種類・期間	ARIMAモデル	変更の有無 【旧】	差の最大値 (直近の年月)	差の最小値 (直近の年月)
労働力人口	男女計	LS2011.3	(012) (212)	○ 【(012) (012)】	7 (2012年12月)	▲10 (2013年2月)
	男	-	(112) (012)		2 (2013年4月)	▲2 (2013年5月)
	女	LS2011.3	(012) (012)		5 (2012年12月)	▲8 (2013年2月)
就業者	男女計	LS2009.3 LS2011.3	(012) (012)		9 (2012年12月)	▲6 (2013年2月)
	男	LS2009.3	(210) (012)	○ 【(112) (012)】	3 (2013年3月)	▲4 (2013年5月)
	女	LS2009.3 LS2011.3	(012) (012)		7 (2012年12月)	▲7 (2013年3月)
雇用者	男女計	LS2009.3 LS2011.3	(211) (212)		10 (2012年12月)	▲6 (2013年5月)
	男	LS2009.3	(210) (012)		8 (2013年3月)	▲4 (2013年5月)
	女	LS2009.3 LS2011.3	(211) (212)	○ 【(211) (012)】	7 (2012年12月)	▲5 (2013年2月)
完全失業者	男女計	RP2008.10-2009.7	(210) (011)		3 (2013年7月)	▲4 (2013年2月)
	男	RP2008.10-2009.7	(210) (011)		2 (2012年6月)	▲2 (2013年3月)
	女	RP2008.10-2009.3	(012) (011)	○ 【(012) (012)】	3 (2012年3月)	▲3 (2013年5月)
非労働力人口	男女計	LS2011.3	(012) (212)	○ 【(012) (112)】	12 (2013年2月)	▲8 (2012年12月)
	男	-	(112) (212)		3 (2013年2月)	▲2 (2012年12月)
	女	LS2011.3	(012) (012)		8 (2013年2月)	▲6 (2012年12月)
完全失業率	男女計	RP2008.10-2009.7	(210) (011)	○ 【(012) (111)】	0.1 (2013年7月)	▲0.1 (2012年12月)
	男	RP2008.10-2009.7	(210) (011)		0.1 (2013年6月)	▲0.1 (2013年2月)
	女	RP2008.10-2009.3	(012) (011)	○ 【(012) (012)】	0.1 (2013年7月)	▲0.1 (2013年5月)

- ・上表のモデルの選定には1984年8月から2013年7月までの原数値（時系列接続用数値。長期時系列データ 表1「原数値」シートに掲載）を用いた。
- ・上表の「差の最大値」及び「差の最小値」における「差」とは、「モデル選定のための試算値」から「2013年12月現在の季節調整値」を減じた値である。
- ・回帰変数（水準変化を調整する期間と種類）については、統計的な有意性等を比較検証した結果、今回の改定においては変更しない。
- ・ARIMAモデルについては、階差次数・季節階差次数はそれぞれ1に固定し、他の次数は2以下の範囲内でAIC（赤池情報量基準）の最小となるモデルについて、各次数の統計的な有意性を確認した上で選定した。
- ・季節変動を算出する際の外れ値の管理限界は、季節調整済系列の安定性を重視する観点から、 $9.8\sigma \sim 9.9\sigma$ としている。
- ・曜日・休日調整及び閏年調整は、行っていない。
- ・差の最大値及び最小値は、2014年1月改定時には2013年12月までのデータを追加して再計算するため、2014年1月改定後の公表値とは必ずしも一致しない。

表 労働力調査 2014年1月以降の季節調整値の系列（全国）

全国（118系列（2014年4月以降は103系列））

労働力人口	男女計	総数*	
	男	総数*	
	女	総数*	
就業者	男女計	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」、「65歳以上」
		産業別 (注)	「農業、林業」、「非農林業」 「建設業」、「製造業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に含まれないもの）」、「公務」
	男	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」、「65歳以上」
		産業別	「農林業」、「非農林業」
	女	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」、「65歳以上」
		産業別	「農林業」、「非農林業」
	雇用人	男女計	総数*
		非農林業・従業者規模別	「1～29人」、「30～499人」、「500人以上」
男		総数*	
	女	総数*	
完全失業者	男女計	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」、「65歳以上」
		世帯主との 続き柄別	「世帯主」、「世帯主の配偶者」、「その他の家族」、「単身世帯」
		求職理由別	「仕事をやめたため求職」、「非自発的な離職」、「定年又は雇用契約の満了による離職」、「勤め先や事業の都合による離職」、「自発的な離職(自己都合)」、「新たに求職」、「学卒未就職」、「収入を得る必要が生じたから」、「その他」
	男	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」
女	総数*		
	年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」	
非労働力人口	男女計	総数*	
	男	総数*	
	女	総数*	
完全失業率	男女計	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」、「65歳以上」
		世帯主との 続き柄別	「世帯主」、「世帯主の配偶者」、「その他の家族」、「単身世帯」
	男	総数*	
		年齢階級別 (10歳階級)	「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」
	女	総数*	
年齢階級別 (10歳階級)		「15～64歳」、「15～24歳」、「25～34歳」、「35～44歳」、「45～54歳」、「55～64歳」	

※「*」を付した系列は、reg-ARIMA 導入系列

注 以下の15の産業の季節調整値（上表は斜体で表示）は、2014年3月分までの公表となります。

「建設業」、「製造業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、
「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、
「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、
「サービス業（他に含まれないもの）」、「公務（他に分類されるものを除く）」

別紙 4

長期時系列データの拡充・Excel ブック名の変更（新旧対応表）

2014年1月分以降，全国・月次の長期時系列データ表1に，新たに以下の系列を追加します。
また，同年4月分以降，産業別就業者数の季節調整値の公表を，現行の17系列から2系列（「農業，林業」及び「非農林業」のみ）とします（別紙2参照）。

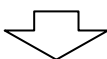
これらの変更を踏まえ，2014年1月分以降の長期時系列データ表1の表番号及び各Excelブック名（ファイル名）を下表のとおり変更します。

【追加する系列】・・・9系列・原数値のみ

- ・ 15歳以上人口（年齢階級[10歳階級]×（男女計，男，女））
- ・ 就業率（年齢階級[10歳階級]×（男女計，男，女））
- ・ 非労働力人口（年齢階級[10歳階級]×（男女計，男，女））

変更前（現行：2013年12月分まで）

現行の長期時系データ 表1	Excelブック名
(1) 労働力人口（1953年1月～）	lt01-01.xls
(2) 就業者数【年齢階級別】（1953年1月～）	lt01-02.xls
(3) 雇用人数（1953年1月～）	lt01-03.xls
1. 雇用形態別雇用人数（2013年1月～）原数値のみ	lt01-25.xls
(4) 主な産業別就業者数	
1. 第12回改定日本標準産業分類別就業者数（2002年1月～）	lt01-18.xls
2. 第11回改定日本標準産業分類別就業者数（2002年1月～2009年12月）原数値のみ	lt01-17.xls
3. 第10回改定日本標準産業分類別就業者数（1953年1月～2002年12月）原数値のみ	lt01-06.xls
4. 「農業，林業」，「非農林業」就業者数（1953年1月～）	lt01-05.xls
(5) 主な産業別雇用人数	
1. 第12回改定日本標準産業分類別雇用人数（2002年1月～）原数値のみ	lt01-22.xls
2. 第11回改定日本標準産業分類別雇用人数（2002年1月～2009年12月）原数値のみ	lt01-23.xls
3. 第10回改定日本標準産業分類別雇用人数（1953年1月～2002年12月）原数値のみ	lt01-24.xls
(6) 非農林業雇用人数【従業者規模別】（1968年1月～）	lt01-11.xls
(7) 完全失業者数【年齢階級別】（1953年1月～）	lt01-12.xls
(8) 完全失業者数【求職理由別】（2002年1月～）	lt01-16.xls
(9) 完全失業者数【世帯主との続き柄別】（1968年1月～）	lt01-20.xls
(10) 完全失業率【年齢階級別】（1953年1月～）	lt01-13.xls
(11) 完全失業率【世帯主との続き柄別】（1968年1月～）	lt01-21.xls
(12) 非労働力人口（1953年1月～）	lt01-14.xls
(13) 延週間就業時間【非農林業】（1968年1月～2012年12月）	lt01-15.xls
（参考資料）南関東及び近畿地域の月別結果（1998年1月～）	lt01-19.xls



変更後（2014年1月分以降）

長期時系列データ 表1	旧Excelブック名	新Excelブック名
月別結果の季節調整値及び原数値		
a-1 主要項目【労働力人口・就業者・雇用人・完全失業者・非労働力人口・完全失業率】- 全国，月別結果（1953年1月～）	lt01-01.xls lt01-02.xls(一部) lt01-03.xls lt01-12.xls(一部) lt01-13.xls(一部) lt01-14.xls	lt01-a10.xls
a-2 就業者【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	lt01-02.xls	lt01-a20.xls
a-3 就業者【全産業，「農業，林業」，「非農林業」】- 全国，月別結果（1953年1月～）	lt01-05.xls	lt01-a30.xls
a-4 雇用人【従業者規模別(非農林業)】- 全国，月別結果（1968年1月～）	lt01-11.xls	lt01-a40.xls
a-5 完全失業者【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	lt01-12.xls	lt01-a50.xls
a-6 完全失業者【求職理由別】- 全国，月別結果（2002年1月～）	lt01-16.xls	lt01-a60.xls
a-7 完全失業者及び完全失業率【世帯主との続き柄別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	lt01-20.xls lt01-21.xls	lt01-a70.xls
a-8 完全失業率【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	lt01-13.xls	lt01-a80.xls
月別結果の原数値		
b-1 15歳以上人口【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	-	lt01-b10.xls
b-2 雇用人【年齢階級(10歳階級)，雇用形態別】- 全国，月別結果（2013年1月～）	lt01-25.xls	lt01-b20.xls
b-3 非労働力人口【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	-	lt01-b30.xls
b-4 就業率【年齢階級(10歳階級)別】- 全国，月別結果（1968年1月～）	-	lt01-b40.xls
主な産業別就業者		
c-3 主な産業別就業者【第12回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（2002年1月～）	lt01-18.xls(一部)	lt01-c30.xls
<<参考>> 第12回改定日本標準産業分類別就業者数 ・ 季節調整値（2002年1月～） 2014年3月分まで更新予定 ・ 季節指数（2002年1月～2014年12月） ・ 派遣社員の産業補正済原数値（2013年1月～2013年12月）	lt01-18.xls(一部)	lt01-c31.xls
c-2 主な産業別就業者【第11回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（2002年1月～2009年12月）	lt01-17.xls	lt01-c20.xls
c-1 主な産業別就業者【第10回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（1953年1月～2002年12月）	lt01-06.xls	lt01-c10.xls
主な産業別雇用人		
d-3 主な産業別雇用人【第12回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（2002年1月～）	lt01-22.xls	lt01-d30.xls
d-2 主な産業別雇用人【第11回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（2002年1月～2009年12月）	lt01-23.xls	lt01-d20.xls
d-1 主な産業別雇用人【第10回改定日本標準産業分類】- 全国，月別結果（1953年1月～2002年12月）	lt01-24.xls	lt01-d10.xls
その他		
e-1 参考資料 南関東及び近畿地域の月別結果（1998年1月～）	lt01-19.xls	lt01-e10.xls
e-2 延週間就業時間【非農林業】- 全国，月別結果（1968年1月～2012年12月）	lt01-15.xls	lt01-e20.xls

長期時系列データ 表1 URL http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm#hyo_1